



## 2021年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年9月10日

上場会社名 くらす寿司株式会社  
 コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 津田 京一  
 四半期報告書提出予定日 2021年9月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 072-493-6189

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年10月期第3四半期の連結業績(2020年11月1日～2021年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第3四半期	110,578	14.7	1,010		1,412		774	
2020年10月期第3四半期	96,366	4.2	1,457		945		1,614	

(注) 包括利益 2021年10月期第3四半期 950百万円 ( %) 2020年10月期第3四半期 1,888百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第3四半期	19.55	19.52
2020年10月期第3四半期	40.86	

(注) 当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第3四半期	89,610	48,277	49.4
2020年10月期	85,102	47,569	51.9

(参考) 自己資本 2021年10月期第3四半期 44,283百万円 2020年10月期 44,138百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期		0.00		40.00	40.00
2021年10月期		0.00			
2021年10月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年10月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,160	8.3	2,535		2,510	121.0	1,469		37.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年9月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期3Q	41,399,600 株	2020年10月期	41,399,600 株
期末自己株式数	2021年10月期3Q	1,740,430 株	2020年10月期	1,853,620 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期3Q	39,610,310 株	2020年10月期3Q	39,519,452 株

(注)当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年11月1日から2021年7月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動は停滞し、個人消費の先行きも不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては飲食店に対する営業時間の短縮要請など、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループはお客様と従業員の安全を第一に考え、感染拡大を防止するための様々な取り組みを行いました。お客様からは、2011年から導入している会話による飛沫などの菌やウイルス、ほこりからお寿司とお皿を守る、当社特許の抗菌寿司カバー『鮮度くん』について、「カバーがあると安心」と改めてご評価いただいております。また、引き続き入店から退店までお客様が従業員と接することなく飲食できるセルフ会計やセルフレジを備えた「スマートくら寿司」への投資を継続いたしました。

店舗開発につきましては、2021年4月にグローバル旗艦店第2号店となる大阪「道頓堀店」をオープンしたのに加え、7月には国内最後の未進出都道府県であった北海道に「ラソラ札幌店」をオープンするなど国内23店舗、米国6店舗、台湾6店舗の計35店舗を出店いたしました。日本国内に加え米国、台湾とも引き続き戦略的な出店を行い、日本の食文化の発信に努めてまいります。

当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で556店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国31店舗、台湾35店舗を含む)となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

#### ① 日本

緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用により、営業時間の短縮や酒類提供の制限による影響を受けるなど、厳しい事業環境が続きました。そのような状況のもと、抗菌寿司カバー『鮮度くん』や「スマートくら寿司」などの感染症対策への高い支持もいただき、2021年7月には営業時間制限を受けるなか、既存店売上高が新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年7月度を上回るなど堅調な売上となりました。この結果、売上高は995億3百万円(前年同期比14.7%増)、経常利益22億85百万円となり当該連結累計期間の日本における売上高は過去最高を更新いたしました。

#### ② 北米

米国子会社(KSU)におきましては、2021年3月以降、米国内のワクチン接種率向上と新規感染者数の減少に伴い、レストラン営業規制の緩和、解除が進みました。8店舗を展開するテキサス州におきましては3月より店内飲食規制が全面撤廃され、16店舗を展開するカリフォルニア州においては50%の座席使用制限付きですが店内飲食が可能になりました。その後6月にはカリフォルニア州を含む多くの店舗について店内飲食規制が解除されました。この結果、売上高39億23百万円(前年同期比8.7%減)、経常損失9億89百万円となりました。

#### ③ アジア

台湾子会社(KSA)におきましては、2021年5月に新型コロナウイルスの感染拡大から、全台湾において「警戒レベル第3級」が発令され飲食店の店内飲食が禁止されました。その後「警戒レベル第3級」は7月まで継続されたのち「警戒レベル第2級」に引き下げられ、現在は台湾全店で通常営業を行っております。

この結果、売上高71億51百万円(前年同期比34.9%増)、経常利益1億16百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,105億78百万円、経常利益14億12百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億74百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、896億10百万円となり、前連結会計年度末と比較して45億7百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が71億82百万円減少した一方で、売掛金が2億40百万円、その他流動資産が20億43百万円、有形固定資産が84億92百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して37億99百万円増加し、413億32百万円となりました。これは、主にリース債務が41億82百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、非支配株主持分が4億51百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して7億8百万円増加し、482億77百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(2021年9月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,611	13,428
売掛金	3,854	4,095
原材料及び貯蔵品	1,715	1,623
その他	1,977	4,021
流動資産合計	28,158	23,168
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	21,328	24,254
使用権資産(純額)	9,706	13,244
その他(純額)	14,259	16,286
有形固定資産合計	45,293	53,785
無形固定資産	705	861
投資その他の資産		
長期貸付金	4,428	4,435
差入保証金	5,411	6,036
その他	1,105	1,323
投資その他の資産合計	10,945	11,795
固定資産合計	56,944	66,441
資産合計	85,102	89,610
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,509	6,410
未払金	6,798	6,780
未払法人税等	1,564	1,742
その他	7,711	6,975
流動負債合計	22,584	21,910
固定負債		
リース債務	12,356	16,538
資産除去債務	2,093	2,282
その他	499	600
固定負債合計	14,948	19,422
負債合計	37,533	41,332
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	5,183	4,842
利益剰余金	39,203	39,187
自己株式	△2,280	△2,139
株主資本合計	44,111	43,895
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26	387
その他の包括利益累計額合計	26	387
新株予約権	190	303
非支配株主持分	3,239	3,691
純資産合計	47,569	48,277
負債純資産合計	85,102	89,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
売上高	96,366	110,578
売上原価	43,641	50,159
売上総利益	52,725	60,419
販売費及び一般管理費	54,183	61,429
営業損失(△)	△1,457	△1,010
営業外収益		
受取利息	91	37
受取手数料	290	345
為替差益	42	144
物販収入	72	68
助成金収入	-	1,979
雑収入	144	70
営業外収益合計	640	2,645
営業外費用		
支払利息	78	116
物販原価	34	40
雑損失	15	65
営業外費用合計	128	222
経常利益又は経常損失(△)	△945	1,412
特別利益		
新株予約権戻入益	80	-
特別利益合計	80	-
特別損失		
固定資産除却損	54	99
減損損失	377	-
特別損失合計	431	99
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,296	1,313
法人税、住民税及び事業税	186	881
法人税等調整額	601	30
法人税等合計	788	912
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,085	401
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△470	△373
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,614	774

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△2,085	401
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	196	549
その他の包括利益合計	196	549
四半期包括利益	△1,888	950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,468	1,135
非支配株主に係る四半期包括利益	△419	△184

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	86,766	4,297	5,302	96,366	96,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	86,766	4,297	5,302	96,366	96,366
セグメント利益又は 損失 (△)	189	△1,011	△123	△945	△945

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	99,503	3,923	7,151	110,578	110,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	99,503	3,923	7,151	110,578	110,578
セグメント利益又は 損失 (△)	2,285	△989	116	1,412	1,412

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来より飲食事業のみの単一セグメントとしておりましたが、2019年8月に米国子会社「Kura Sushi USA, Inc.」、2020年9月に台湾子会社「亞洲藏壽司股份有限公司」がそれぞれ現地証券取引所に上場したことにより、海外における新規出店及び店舗の管理体制が順次強化されたため、第2四半期連結会計期間より、単一セグメントから「日本」、「北米」、「アジア」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。